



運輸納品部会だより No.2

■2019年度『第2回 運輸納品部会研修会』が開催されました

日時：2019年9月20日(金) 13:30~16:00
 場所：豊田市 高岡コミュニティセンター 3F研修室
 出席者：村松 部会長 以下33名(26社/全30社)

《部会長挨拶》



トヨタ輸送(株)
村松部会長

昨年発生した重大災害から1年が経ちました。あのと時の教訓を今一度共有して、二度と重大災害事故を起こさない決意を新たにしたいと思います。

・重量物取り扱い順守事項
 ・変化点発生時の対応
 ・作業責任者が職責を果たせる環境づくり
 これらを踏まえて自分の職場のリスク・作業方法の見直しに繋げ、災害のない職場にしていきたい。

《次第》

1. 開会の辞
2. 部会長挨拶
3. 安全活動事例発表
4. 安全セミナー
5. 連絡事項
6. 閉会の辞

《安全活動発表》

『弊社(水谷運輸倉庫)の安全の取り組み』

輸送の安全確保をするため「運輸安全マネジメント」に取り組み、事故防止していくことを基本方針としている。「安全管理」「教育」「健康管理」など重点項目として力を入れている。

「安全管理」 始業点呼時の連絡・事象事例の展開と就業点呼時の対面点呼では速度超過者への個別指導、添乗指導を実施

「教育」 研修会でのリフト基本操作確認や事故の再現で問題点を共有、KYTに繋げている。ゼロ災ミーティングでは、身近な共通課題で自主・自発性を大切にディスカッションの場としている

「健康管理」 労務管理により過労防止、社内安全衛生委員会およびトヨタ飛鳥・稲沢での安全衛生委員会へも参加し情報共有を図っている



(株)水谷運輸倉庫
運行部 稲沢車庫
中野 讓 殿

『トヨタ輸送 安全への取り組み』墜転落災害防止に向けた取り組み

運送業で労災急増を受け、墜転落・転倒災害予防を趣旨とする労働基準監督署(豊田・岡崎・刈谷・西尾)の安全専門官によるパトロールが6月17日 弊社にて実施されました。墜転落防止に向けた作業環境・機器改善・人づくりの観点でしっかり取り組んでいるとの評価をいただきました。

‘18-’19年度取り組み ルールを守り、守らせる活動の実践(見る機会増、見られている感増)

- ・3年未満の作業者を手厚くサポートするため「見守り活動」
- ・管理者の安全教育・育成として「オペレーションアドバイザー活動(仕組みづくり)」

「作業環境改善」 乗務員積車時の風雨雪・暑さ寒さのある積載操作場の有蓋化(’15年~全国9拠点完了、他拠点順次実施)

「輸送機器の改善」 転落防止、積車時のリスク・作業負担低減のため、新車輸送機器“T-MODEL”を開発し’14年より順次導入中

「人づくり」トヨタ殿より受け継ぎ培ってきた「トヨタ物流方式」を伝承したトヨタ輸送物流教育プログラム“TLEP”を階層別に設定し運用中



トヨタ輸送(株)
安全品質統括部
安全品質企画室
岩月 優 殿

《安全セミナー》

『労災リスクマネジメント』

「人間工学・・・考え方」「4M」手法で事故の背後に潜む真因を探る方法を展開された

4M=方法・環境(Media)×道具の操作・安全性(Machine)×人の心理・身体・技術(Man)×管理(Management)

『労災事故防止対策』

1. トラック荷台からの墜落・転落 トラック荷台からの墜転落、フォークリフトとの接触事故
 - ・動画を見ながら皆で意見・対応策を出し、安全策を図った
2. 高齢者の事故 50歳からの労災事故は増加傾向にある
 - ・高齢者への指示、指導にも配慮が必要

<ポイント> 若年者と同じスピード・負担を求めない

- ①作業面・・・重筋・高所・暗所・長時間・複雑・急がず
- ②環境面・・・整理整頓、危険なものは目立たせる
- ③備品面・・・工具類は安全で使いやすいものにする
- ④管理面・・・勤務時間、体調、加療内容や投薬内容把握



東京海上日動調査サービス(株)
企画業務部物流ロスブリグループ
ロスブリ&テクノロジー戦略チーム
浅野 弘晶 様